競　技　注　意　事　項

1. 本大会は２０２６年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により行う。（国内ルール適用）
2. トラック競技の組合せレーン順、及びフィールド競技の試技順は、主催者において公平に抽選し、プログラムおよび招集所で発表する。
3. フィールド競技の競技順序はプログラムの試技順序に従う。
4. 競技者の招集について

   競技者招集所は 100mスタート付近とする。

   招集開始時刻, 招集完了時刻はプログラム記載の競技開始時刻を基準として以下の通りとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	３０分前	２０分前
フィールド競技	４０分前	３０分前

   ※ 代理人による招集は認めない。

   ※ リレー競走に出場するチームは**招集完了時刻の１時間前までにオーダー用紙を提出**し、チーム４人が揃って招集時間内に招集を受けること。オーダー用紙はプログラムに掲載してある。オーダー用紙を提出した後のオーダー変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められないので、その際には総務へ申し出ること。**複数チームエントリーしている場合は、チーム間でのメンバー移動を認めるが、１人の競技者が複数のチームに出場することはできない。**

   ※ **招集完了時刻に遅れた場合及びリレーオーダー用紙の提出が遅れた場合は棄権となる。**
5. **アスリートビブス（ナンバーカード）、腰ナンバー標識（腰ナンバー）、安全ピンは、各自で用意すること。** なお、アスリートビブスは、胸、背部の両面につけること。（但し、跳躍種目の競技者はどちらか一方のみでよい。）**3000mと 5000mは、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、各自で準備すること。**なお、無地のアスリートビブスを本部で販売している。
6. 競技用具は競技場備付のものを使用すること。
7. 小学男女 100mを除き、200mまでの競走ではスターティングブロックを使用しなければならない。
8. スタートはすべて英語で行う。
9. **不正スタートにおいて、不正スタートの責任を有する競技者は１回で失格とする。また, TR16.5.1, 16.5.2, 16.5.3 を行った時、審判長は当該競技者に対してイエローカードを示し、警告を与えることができる。累積２枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。**小学生男女 100mのみ、同一人が２回不正スタートをした場合は失格とする。なお、その場合も競技には参加させ、記録は参考記録とする。
10. 小学男女 800m及び中学男女 800mは、弧形のライン後方からオープンスタートで行う（レーンを使用しないでスタートを行う）。高校・一般の 800m はセパレートスタートとする。
11. 競技用靴については、以下の通りとする。

   ①スパイクのピンの長さは９mm 以内とし、走高跳は１２mm 以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は１１本以内とする。

   ②WA(World Athletics)が承認したシューズリストで「No」と記載されている靴については、使用できないので、各自で確認をしておくこと。

   https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/

   ③使用された靴に関して、審判長が確認のため、競技終了後に提出を求めることがある。

12. リレー種目では同一のユニフォームを原則とする。ランニングパンツ、スパッツ等は形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
13. フィールド種目（走高跳を除く）においては3回目までの試技とし、トップ８による試技を行いません。
14. 走高跳バーの高さ及びバーの上げ方

	練習	
中学男子	1m35	1m40　1m45　1m50　1m55　1m60　1m65 … 以後３cm
中学女子	1m20	1m25　1m30　1m35　1m40　1m45 … 以後３cm
一般男子	1m55	1m60　1m65　1m70　1m75　1m80　1m85　1m90 … 以後３cm
一般女子	1m25	1m30　1m35　1m40　1m45 … 以後３cm

なお、練習の高さ及び最初の高さについては、天候の条件や出場選手の状況により、フィールド審判長の判断によって高さを変更する場合もある。

15. 抗議については TR8 に従う。
16. 助力については TR6 に従う。フィールド種目に出場している競技者は、録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば、録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしてもよい。
17. スマートフォン、ビデオカメラ、音楽プレーヤー等は競技場内に持ち込むことはできない。なお、フィールド競技の現場で発見された場合、現地で預かり、総務を通じて返却することになる。
18. **ゴミは競技場に残さないで、各自で必ず家に持ち帰ること。**
19. 盗難には十分注意し、貴重品や自転車などの管理を各団体、各自でしっかり行うこと。
20. 記録証を（1部100円）を希望する場合には本部で表彰係に申し込むこと。（16：00まで）
21. **表彰については、各個人種目１位の競技者と各リレー競走の優勝チーム（４名）には記念品を授与する。また、１位から8位までの入賞者には賞状を授与する。**
22. その他不明な点、忘れ物、落し物等は総務まで照会ください。

＜競技結果　速報携帯サイトのお知らせ＞

https://gold.jaic.org/tokyo/top.htm

QRコード ⇒